

# 委員会行政視察報告書

大崎市議会 調査活動概要報告書

平成27年11月30日 提出

## 1. 視察概要

委員会名	情報化対策特別委員会
委員名	佐藤弘樹・木内知子・山田和明・只野直悦・遊佐辰雄・中鉢和二郎・佐藤仁一・佐藤仁一郎（事務局:手島 明）
日時	平成27年11月27日 午後1時30分から午後4時まで
視察先	宮城県白石市議会
出席者 (説明者)	佐久間儀郎議長、菅野恭子議会広報委員長、佐藤聡一同副委員長 阿部秀行議会事務局調査係長

## 2. 視察内容

視察項目	(1)議会広報について (2)議会中継について												
視察内容 【質疑応答】	<p>(1) 議会広報について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 印刷形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>・A4版 縦型 ・12ページ～16ページ ・13文字30行/段 5段/ページ</li> <li>・10.5pt ・表紙/裏表紙フルカラー、その他2色刷り</li> </ul> </li> <li>● 発行回数及び部数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回(定例会翌月末)、12,300部</li> </ul> </li> <li>● 配布先及び配布方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の広報誌と一緒に自治会長を通じて配布</li> <li>※自治会に不加入世帯には配布せず</li> </ul> </li> <li>● 主な掲載内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会/臨時会の概要 ・議案一覧表 ・意見が分かれた議案の賛否一覧</li> <li>・委員会審査の概要</li> <li>・一般質問(タイトル、氏名、顔写真、800文字以内の発言要旨)</li> <li>・討論(全ての討論について、賛否、氏名、要旨を掲載している)</li> <li>・人事/意見書/請願等</li> </ul> </li> <li>● 編集体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・9名から成る「議会広報委員会(H27/9月定例会で設置)」委員と事務局職員で編集</li> </ul> </li> <li>● 議会広報委員会の作業内容 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">委員会等の開催</th> <th style="width: 15%;">日程例</th> <th style="width: 45%;">作業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目の委員会開催(定例会最終日)</td> <td>9/18</td> <td>編集方針(体制/日程等)、掲載事項を決定。</td> </tr> <tr> <td>(会議録ゲラ納品を受けて)</td> <td>9/30</td> <td>事務局職員が、一般質問以外に関する掲載原稿(案)を作成。</td> </tr> <tr> <td>常任委員会・予算審査・決算審査特別委員会編集小委員会開催</td> <td></td> <td>常任委員会・予算審査・決算審査に関する掲載原稿の編集校正。</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>	委員会等の開催	日程例	作業内容	1回目の委員会開催(定例会最終日)	9/18	編集方針(体制/日程等)、掲載事項を決定。	(会議録ゲラ納品を受けて)	9/30	事務局職員が、一般質問以外に関する掲載原稿(案)を作成。	常任委員会・予算審査・決算審査特別委員会編集小委員会開催		常任委員会・予算審査・決算審査に関する掲載原稿の編集校正。
委員会等の開催	日程例	作業内容											
1回目の委員会開催(定例会最終日)	9/18	編集方針(体制/日程等)、掲載事項を決定。											
(会議録ゲラ納品を受けて)	9/30	事務局職員が、一般質問以外に関する掲載原稿(案)を作成。											
常任委員会・予算審査・決算審査特別委員会編集小委員会開催		常任委員会・予算審査・決算審査に関する掲載原稿の編集校正。											

(会議録ゲラ納品を受けて)	10/9	一般質問に関する掲載原稿(800 文字以内)を発言者本人が作成。 ※日時を決めて、関係者に事務局へ来てもらって作業
一般質問編集小委員会開催		一般質問に関する掲載原稿の編集校正。
2 回目の委員会開催		全ての掲載原稿の最終校正。
(完成品納入)	10/28	

(2) 議会中継について

● 経緯

- ・ H25 年 12 月定例会で議会改革特別委員会が設置され、市民に開かれた議会とするためインターネット中継を検討することを決定。⇒安価に実施可能な Ustream を活用することとした。
- ・ H26 年 9 月定例会終了後、議場録音システムの入替えに合わせて、インターネット中継用の PC を導入。
- ・ H26 年 12 月定例会より、インターネット配信開始。
- ・ 経費： システム等導入費総額 11,674,800 円(議場録音システム等全体) 回線使用料 6,264 円/月(回線工事費を含む)

● 配信内容

- ・ ライブ中継
- ・ 録画配信(公開より 30 日で自動的に削除される)※一旦議場のシステムで収録後、データを Ustream へアップロードし、公開手続きをするもので、その日の内に視聴可能。
- ・ 議場で行われる会議(本会議、予算/決算審査特別委員会、一部の議員全員協議会)

● 映像配信に際しての留意事項

- ・ 議場録音システムの機能を利用し、映像に「テロップ」として、審議されている内容「議案番号」や「一般質問のタイトル」などを表示させ、見易さ分かりやすさを向上させている。
- ・ 映像を見る際の資料となる議案書、予算書等を市議会の HP で公開している。
- ・ Ustream のフリープランを利用しているため、企業広告画面が視聴中に表示される。

● システム構成

- ・ カメラ: 固定式(議場内全景用)2 台、可動式(発言者へフォーカス)2 台
- ・ 可動式カメラは、事前に全ての議場内の座席へフォーカスがプリセットされており、議事の流れて、事務局員の操作により、発言者を PC 上でポイントする事で自動的に切り替わるようになっている。※議場内の様子を任意に写す様なカメラの動きは想定していない。
- ・ 固定式カメラは、起立採決など議場全体を写す必要がある場合に利用。
- ・ 議場内大型モニター: 議席後方 1 台、理事者側横の壁側 1 台(共に配信中の内容が表示される)

考 察

【所感・課題  
・提言等】

a) 議会広報について

まず、一番目を引くのは、表紙/裏表紙のフルカラー印刷であること。表紙が生き活きとしており、市民が「手に取って見る」という点で、最も重要なポイントではないかと考える。

本文の構成は、13 文字 30 行 5 段で、本市と全く同じであり見掛けはかなり似通っている。

但し、挿入写真が少ないことから文字が多い印象である。総ページ数が、本市より少ない事に起因しているものと考えられる。読み易さの向上の視点からは、改善すべ

	<p>き点と思われる。</p> <p>一般質問は、一人 800 文字のスペースがあることからかなり詳細に内容を伝えられると考えられるが、ここも文字が多いイメージで、小見出しのつけ方など読者の関心を引く工夫が必要ではないかと感じた。</p> <p>7月の改選後、それまで「議会広報特別委員会」としていたものを「議会広報委員会」と改め、他の 2 つの会議等と共に、地方自治法第 100 条第 12 項に規定された「協議等の場」として再スタートしたとの事。議会改革の一環として、議会広報の改善に取り組む強い姿勢が伺える。</p> <p>b) 議会中継について</p> <p>本市においては、議場で開催される本会議等のインターネット中継が既に実施されている。一方、議場以外の場所における会議については、インターネット中継がライブ/VOD 共に未実施であり課題となっている。</p> <p>白石市議会では、民間ネット配信サービス Ustream を活用し、ライブ配信を行っている。更に、ライブ配信した映像を録画し公開する機能(最長 3 時間)もあり、ライブ/VOD 共に Ustream 活用で安価に実現している。問題は、録画については 30 日間で自動的に削除されてしまう点であるが、映像は正式な記録ではなくあくまで補助的参考情報という位置付けにする事で整理している。</p> <p>本市におけるインターネット中継の課題は、以下の点である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①議場以外の場所における会議の配信(ライブ/VOD 共に)</li> <li>②議場における会議の VOD の提供タイミングの改善(会議開催当日中に提供)</li> </ul> <p>これらの課題を解決する上で Ustream 活用は有効な手段と考えられる。</p> <p>以前には、台東区議会、犬山市議会における Ustream 活用の事例を議会運営委員会による行政視察で学んでおり、その有用性は既に十分理解しているところであるが、システム構築に必要な予算の算定及び、運用上の課題(人的負荷、運用ルール)など精査すべき点は手付かずのままとなっている。</p> <p>今回の視察研修を契機とし、本市における Ustream 活用の詳細検討を早急に実施すべきと考える。開かれた議会を目指し全国の議会が凌ぎを削っている。本市においても良いものは躊躇せず導入/実践し、市民との情報共有を通じた信頼の向上につなげて行くべきものとする。</p>
記録委員	中鉢和三郎

以上